

KOSHII

木製内装材 取扱説明書

国土交通省認定 材料認定品

不燃スーパーパネル不燃材料：NM-1031
NM-4619(1)**準不燃スーパーパネル**

準不燃材料：QM-0918(1)

難燃スーパーパネル

難燃材料：RM-0052(1)

目次

1. 取扱い上の注意	p.01
2. 仕様	p.02
3. 参考施工方法	p.03
4. 塗装(タッチアップ作業手順)	p.05
5. 施工後の注意事項	p.06

1. 取扱い上の注意

- (1) 本製品は、潮解性のある防火薬剤を含みます。潮解現象・白華現象を抑制するファイヤーブルーフ塗装品ですが、完全には抑制できないため、高温多湿な条件下でのご使用はお控えください。
- (2) 運搬の際は、破損したり傷つけたりしないようご注意ください。
また、雨水にかからないように注意してください。
- (3) 製品の保管は乾燥した屋内で行ってください。
- (4) 本製品は、防火薬剤を含浸させているため、無垢の木材に比べて重く
(比重：0.5～0.7程度)、材質も硬くなっておりますので、加工の際はご注意ください。
- (5) 本製品を切削加工されますと、塗装されていない断面が露出します。
切断面が無塗装の状態のまま使用されますと、切断面から吸湿を起し、防火薬剤が水溶液となって滴下し、床や壁など周囲を汚す恐れがあります（潮解現象）。
切削加工された際は、付属のタッチアップ塗料を速やかに塗布してください。
詳しくは、4. 塗装（タッチアップ作業手順）のページをご覧ください。
- (6) キッチン等で使用する場合は、ガスレンジなど、裸火との間隔にご配慮ください。
内装材が炭化する恐れがあります。
また、環境によっては、湿気の影響により、製品の表面の変色や、塗膜の劣化などが生じて吸湿を起し、潮解や白華を起します。

木材の特性をご理解下さい

- 木材は天然素材のため、季節や天候等により寸法変化、割れ、ささくれ、反りが発生する場合がありますが、強度には影響はありません。
- 自然素材ですので、色や節に個体差が生じる場合がありますがご了承ください。
- 直射日光により日焼けが生じます。カーテンなどで遮ってください。

2. 仕様

※寸法単位はすべてmm

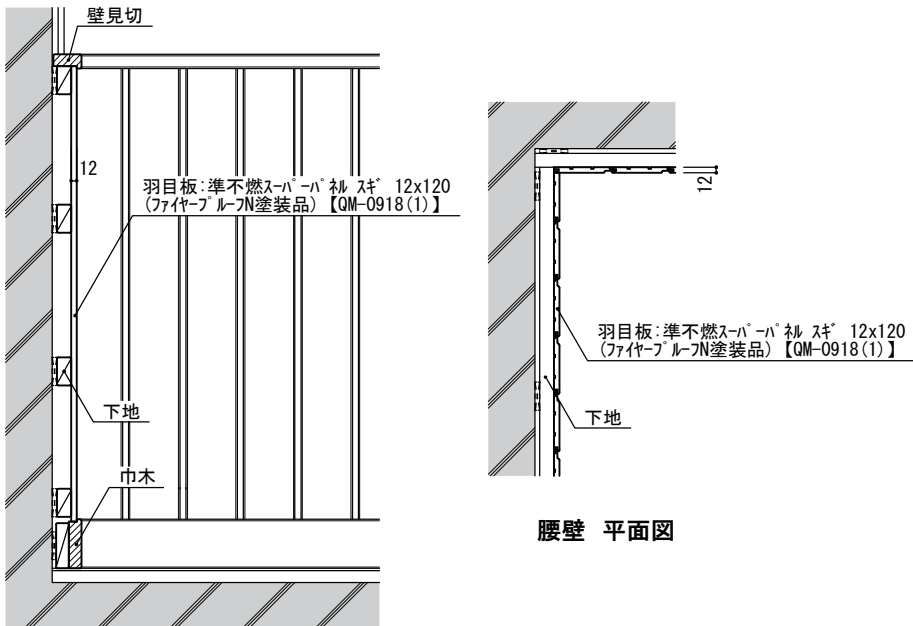
	商品名	樹種	等級	認定番号	断面寸法	標準形状
羽目板	不燃スーパーパネル (ファイヤーブルーフN塗装品)	スギ	・上小節 ・無節	不燃材料認定(国土交通省) NM-1031、NM-4619(1)	85×18 120×18 120×15	
	準不燃スーパーパネル (ファイヤーブルーフN塗装品)	スギ	・無節	準不燃材料認定(国土交通省) QM-0918(1)	85×12 120×12	
	難燃スーパーパネル (ファイヤーブルーフN塗装品)	スギ	・上小節	難燃材料認定(国土交通省) RM-0052(1)	100×12 120×12	
ルーバー	不燃スーパーパネル (ファイヤーブルーフN塗装品)	スギ	・上小節 ・無節	不燃材料認定(国土交通省) NM-1031、NM-4619(1)	60×30 97×27 105×27 120×30 (※)	①
	準不燃スーパーパネル (ファイヤーブルーフN塗装品)	スギ	・無節	準不燃材料認定(国土交通省) QM-0918(1)		②
	難燃スーパーパネル (ファイヤーブルーフN塗装品)	スギ	・上小節	難燃材料認定(国土交通省) RM-0052(1)		③
						④
						※難燃スーパーパネルは③④のみ

●長さは3m材、2m材、1m材の設定となります。

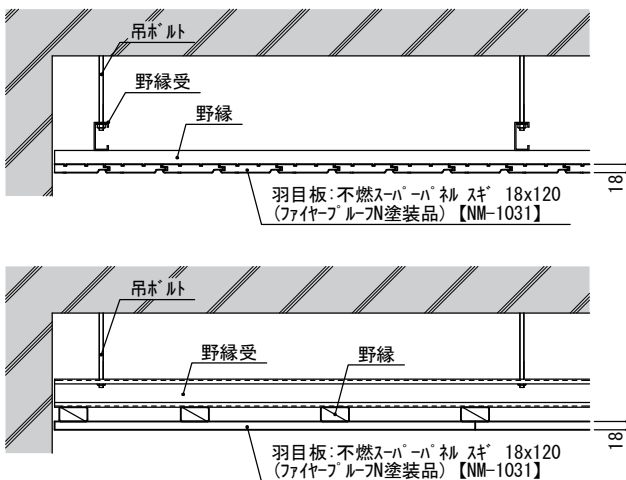
●白華抑制塗装の塗膜の密着性を確保するため、r=3mm以上の面取加工を施しております。

3. 参考施工方法 <羽目板>

- 下地材の間隔は455mm以下として下さい。
- 釘打ち施工
内装材の厚みの3倍以上の長さの防錆処理したパネル釘、またはステンレスクリュー釘を使用して下さい。
- 釘打ち接着併用施工
酢酸ビニール系、エポキシ系、合成ゴム系統の接着剤で固形量 200 ~ 250g/㎡を均一に下地に塗布し、パネル釘（抑え釘）24mm 以上を 455mm 間隔で抑えて下さい。



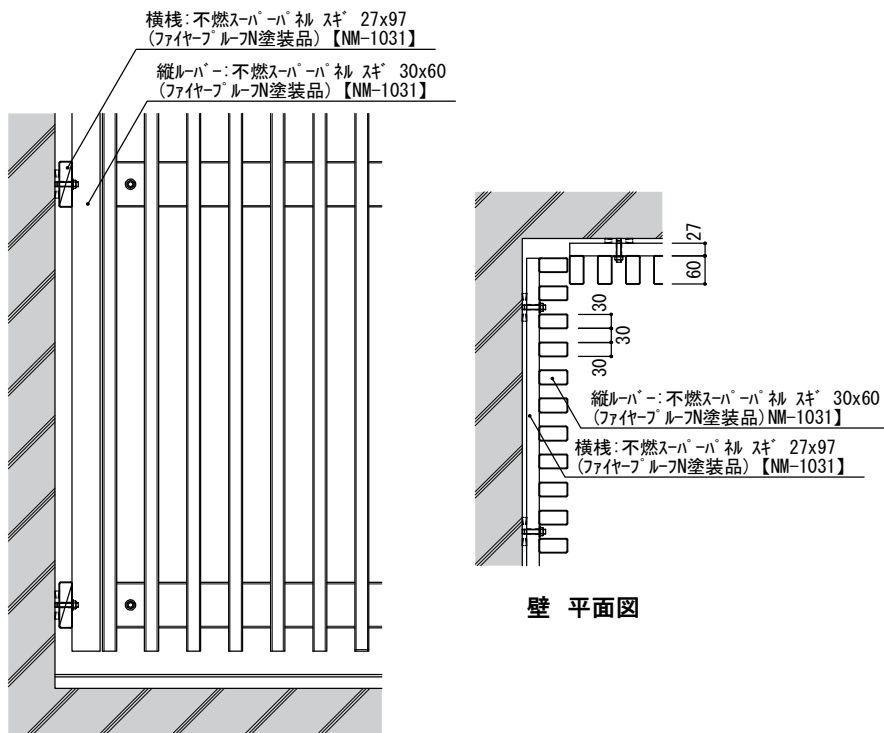
腰壁 断面図・姿図



天井 断面図

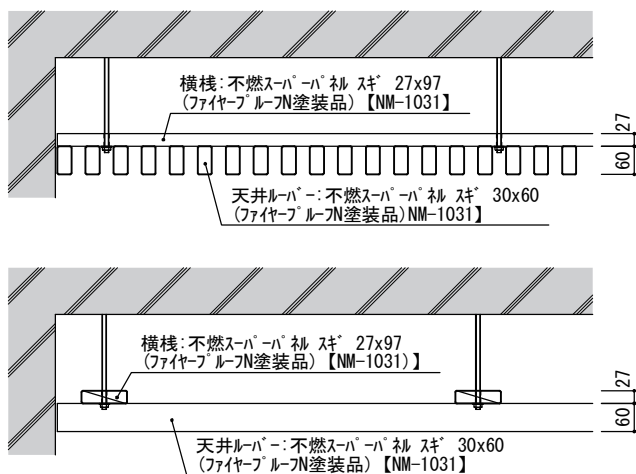
3. 参考施工方法 <ルーバー>

●下地材の間隔は1000mm以下として下さい。



壁 平面図

壁 断面図・姿図



天井 断面図

4. 塗装（タッチアップ作業手順）

本製品には潮解・白華現象を抑制するファイヤープルーフ塗装を全面に施しておりますが、施工の際に切り使いされますと塗膜も失われてしまいます。そのまま使用されますと、製品内の防火薬剤が周りの湿気を取り込んで液体となって流れだす潮解現象が起きて、床や壁など周囲を汚す恐れがあります。本製品を切削加工された際は、付属のタッチアップ塗料を速やかに塗布して下さい。

セット内容	タッチアップ用塗料 主剤（A液）	…1本
	タッチアップ用塗料 硬化剤（B液）	…1本
	ディスポカップ	…2個
	刷毛	…2本



※お手数ではございますが、「はかり」のご用意はお客様にてお願い致します。

① 塗料を混合、攪拌する

- ・主剤（A液）にはつや消し剤が添加されておりますので、ご使用前に容器を振ってよく混ぜてください。
- ・主剤（A液）：硬化剤（B液）＝ 8：1 の割合で使用します。
- ・2液を混ぜ合わせ、攪拌して下さい。



- ・攪拌は十分に行ってください。攪拌が不十分ですと、効果に不具合が生じるおそれがあります。
- ・塗料の硬化時間は2時間です。使い切れる量ずつを混合してください。

② 塗布する

- ・切断箇所にも木粉が付着している場合はウエス等で取り除いてから作業を行ってください。
- ・刷毛に塗料を十分に含ませてから、塗装したい範囲全体が塗れていることを確認しながら塗布してください。
- ・間隔をあけて3回塗布を行ってください。
(間隔は15～30分、触った時に指につかない程度乾いていることが目安です)。
- ・塗膜が出来ていることを確認してください。 ・塗料は塗布後約20時間で乾燥します。
- ・塗布終了後に施工を行う場合は、塗装箇所に傷がつかないように、細心の注意を払ってください。



塗料を含ませた刷毛を容器のふちでしごいてから塗装する場合、羽目板（120×18）、ルーバー（120×30）で3～5回程度は塗り足すのが目安です。この作業を間隔を空けて3回繰り返して行ってください。

廃棄上の注意

- 廃塗料は特別管理産業廃棄物（廃油）に該当します。許可を受けた産業廃棄物処理業者へ処理を委託してください。
- 空容器は内容物を完全に除去してから、許可を受けた産業廃棄物処理業者へ処理を委託してください。
- 容器や刷毛等を洗浄した排水等は地面や排水溝へそのまま流さないでください。
- 排水処理により発生した廃棄物についても、廃棄物の処理及び清掃に関する法律及び関係する法規に従って処理を行うか、産業廃棄物処理業者へ処理を委託して下さい。

5. 施工後の注意事項

- (1) 本製品は、潮解現象・白華現象を抑える塗装品ですが、若干の潮解・白華がみられることがあります。詳細はご相談ください。
- (2) 長期間高湿度になるような環境でのご使用は避けてください。
- (3) 空調による湿度管理が可能な条件下での使用をお勧めいたします。
- (4) 万が一白華した場合は、塗膜を削らないでください。さらに潮解現象、白華現象が進行する原因となります。
- (5) 使用上の注意に反するご使用に関しては、責任を負いかねますので予めご了承ください。

製造元



越井木材工業株式会社

[西日本S D部] 〒559-0026 大阪市住之江区平林北 1-2-158
TEL:06-6685-2064 FAX:06-6682-2714

[東日本S D部] 〒272-0133 千葉県市川市行徳駅前 1-27-17
TEL:047-395-6321 FAX:047-395-6324

<http://www.koshii.co.jp>